

# 介護予防プログラム参加と生活面の変化に関する調査票

(市町村名: )  
(事業所名: )

\* 空欄に記入、または該当する内容に○をつけてください。

## 1. 回答者

年齢(            歳)、性別( 男 ・ 女 )、家族構成( 1人暮らし ・ 夫婦のみ ・ 子等と同居 )  
要介護度( 認定なし ・ 要支援1 ・ 要支援2 )、プログラム( 利用中 、 終了後            ヶ月)

## 2. 介護予防プログラムの利用により「生活面」でどのように変化しましたか以下の質問にお答えください。

①	自宅内の移動	楽になった	少し楽になった	変わらない	悪くなった
②	自宅の庭先や周囲に外出する機会	増えた	少し増えた	変わらない	減った
③	買い物など遠方に外出する機会	増えた	少し増えた	変わらない	減った
④	身の回りの行為(入浴・洗面・トイレ・食事・服の着脱など)	楽になった	少し楽になった	変わらない	悪くなった
⑤	家事や家の中の仕事(庭木の手入れ等)	楽になった	少し楽になった	変わらない	悪くなった
⑥	階段の上り下り	楽になった	少し楽になった	変わらない	悪くなった
⑦	床からの立ち上がり	楽になった	少し楽になった	変わらない	悪くなった
⑧	椅子からの立ち上がり	楽になった	少し楽になった	変わらない	悪くなった
⑨	日中、体を動かす頻度	増えた	少し増えた	変わらない	減った
⑩	家族・友人との会話	増えた	少し増えた	変わらない	減った

## 3. 介護予防プログラムに参加してみて、生活面の変化に「役に立った」と思う内容や介護予防プログラムに、今後取り入れてほしい内容などご自由に記入してください。

# 介護予防プログラム参加と生活面の変化に関する調査

## 目的

- ・介護予防プログラムの利用により、「生活面」にどのような効果があったかについて調査し、プログラムが生活に及ぼす効果について検討する。

## 対象

- ①調査時点において、通所型運動機能向上プログラムに参加している方のうちプログラム参加3ヶ月目に入っている方(特定高齢者・要支援1及び2に該当する方)
- ②通所型運動機能向上プログラム終了者(終了後3ヶ月以内)

## 調査期間

- ・平成21年4月～平成22年3月

## 調査方法

- ①プログラム参加3ヶ月目の利用者に対する調査
  - ・介護予防プログラム(特定高齢者施策・介護予防サービス)実施事業所等において、調査表への記入を促す。(職員の聞き取りによる記入も可)
- ②通所型運動機能向上プログラム終了者(終了後3ヶ月以内)に対する調査
  - ・地域包括支援センターが行う、プログラム終了後の特定高齢者の評価時に、調査表への記入を促す。(職員の聞き取りによる記入も可)

## 回収方法

- ・記入後の調査表は、地域包括支援センターへのサービス提供実績報告等にあわせて送付する。
- ・地域包括支援センターは、対象①②の調査表を取りまとめ、毎月市町村担当課に提出する。
- ・市町村担当課は、対象①②の調査表を取りまとめ、毎月県高齢者福祉課に提出する。

## 調査結果

- ・調査結果については、大分県介護予防市町村支援委員会運動機能向上専門部会において分析し、その結果を市町村・事業所に還元するとともに公表する。